

質疑応答(令和6年4月10日 1回目)

当日の質疑	当日の回答
前回の説明会も参加させていただいたんですけど、そのときのお話を聞いてまた時間をかけてまた考えたんですが、どう考えてもこれは全く納得できません。ぜひ、計画の変更、そしてこの駐車場潰す重要な場所、スキー場のキャパに対して、既にスキー場がもともと足りていない上に、スキー場利用者が直接利用できるような施設ではなく水道施設をこのスキー場の入り口につくって。利用者にとっては使えない施設になってしまう。特に今、車で来られる方、やっぱスキー場多いけど、今どんどんどんどんこのスキーのまち倶知安といいまして、スキーの町倶知安の町民自体が、この倶知安町でスキーができない状態にどんどんっている中で、駐車場がなくなることによって、ますます町民はスキーができなくなっていく。今も既に町民たちはキロロやモイワ、留寿都、アンヌプリに行ったり、町民がどんどんどんどんほかのスキー場に行くようになっていいる。 これ水道施設っていうのは、国のお金もあるんですが、当然、町の土地、町民の財産である町有地を使って、町民の税金を使ってつくる施設だと思います。しかし、その財産、お金使ったものが町民に活用されないっていうのは、果たして正しいものなのでしょうか。 どうか、この計画進め方も全くおかしいと思う。こんな重要な、倶知安町の1番の観光資源、スキー場は。倶知安の1番大きい産業は観光だと思います。その中でも1番重要な施設、その入り口です。 そこに水道施設、それが水道課の一方的な考えで決まってしまうって、そんなことがあっていいんでしょうか。どうか町長、このまま計画は変更して、駐車場は広げることを考えてください。お願いします。	ありがとうございました。今駐車場ということで、水道施設も重要だというのは、皆さん本当に理解していただいていると思いますので、あえて申しませんが、駐車場をいかにしてこれから確保していくのかというのは本当に冒頭ですれ挨拶でもさせていただいたとおり、ますますですね、ここへのアクセスというのはどんどんどん充実してくるようになってます。もう既に、新幹線や高速道路、始まってますんでね。なおさらのこと日帰り客、さらには町民の皆さんも、私たちにとっては本当にまずは町民の人たちがこのスキーのまちとして50周年を超えてさらに次の50周年を目指してですね、スキーの町100年を目指してこれからやっていこうという意気込みではありません。 ですから今の御指摘のとおりですね、いかにしてここに足を運んで頂けるような方法をこれからも追求していかなければなりませんし、整備、あるいは、いろいろなソフト関係も含めてですね、整えていかなければならないというふうに思っております。 ですから、両方これ、水道施設とそういった駐車場問題というのはセットだともちろん思ってます。 ですんで、そういったところの駐車場の確保についてはですねこれからちょっと補足して担当のほうから説明を頂きますけれども、将来にわたって本当の意味の最終的な、目指す姿の駐車場整備というのがまだ構築されている道半ばの状態であります。 そういった部分、これからですね、可能な限りの時間を短縮した中で、これから本当に熟度を高めた中で、精査、展開していくような形にしていかなきゃならないというふうに思っております。 今回、この水道の施設第2駐車場の場所というのがですね、先ほど担当のほうから水道課のほうから説明ありましたとおり、様々なところでのシミュレーションをかけていろいろ調査したというふうに聞いております。 で、本当に合理的にいくらでもお金をかけて、場所も本当に目の入らないところとかっていうのもあるのかもしれませんが、実際に水道施設として1番最も最適なところはどこなんだということをですね、いろいろな角度から総合的に勘察してみると、本当に貴重な第2駐車場のスペースですけども、ここの場所が1番いいし、ほかに変わるところがなかったっていうのが正直なところですよ。見つけれなかったというのが正直なところですよ。 そういったところもまずは御理解を頂きたいと思って、これからの暫定的な駐車場の対応について、補足説明をさせていただきます。
	私のほうから、施工期間中、またその後のですね、駐車台数の確保ですよ。その辺について御説明させていただきます。 前回の説明会の中では、100台程度駐車スペースがなくなるというようなことから関係者との打合せに入らせていただいたというようなことで御説明したかと思います。 現在のところはですね、方法としては、今現在、第1駐車場、それから第2駐車場含めまして、従業員の方も当然とめられている部分があるかと思います。町のほうでは外れの土地にですね、従業員用の駐車場を確保し、そこから従業員を輸送し、これまで従業員が使用していた駐車スペースを何とか一般町民に、スキー場の利用者のほうにですね、使っていただくというようなことと、またですね、サン・スポーツランドのグラウンド、こちらは冬期間、従業員向けの駐車場ということで以前より行っているところですが、今シーズンにおきましては、観光協会のほうと調整しながら、食事のとれる場所がないというようなこともありまして、キッチンカーなどのスペースとして利用しておりましたか、ここをですね、もう一度、駐車スペースとして確保していきたいと。そうすることによりまして40台程度のスペースが確保できるだろうということも検討してございます。 いずれにいたしましても、それでも足りない部分は当然あるかと思しますので、その辺はこのエリアの空いている土地、そちらのほうの所有者の方に、今後調整を図っていきたいと考えております。 またこの水道施設が完成いたしましても、当然その100台のスペースというものは失うわけですから、今後今の平場の駐車場、当然台数を確保するのであれば、その土地を有効に活用できる立体駐車場などもですね、検討していかなければならないということで今進めているところですよ。御理解のほどよろしく願います。
前回の説明会も出席させていただいて今回そこで議論された内容、補足の資料頂いて今ちょっと読み返してるんですけども、将来必要になる1日の最大の水の量の計算の根拠が令和元年度に出ていた開発計画16か所を盛り込んでっていう話で、実際、令和2年度以降、さらにそれ以上の開発計画がある。もう、現実ありますので、必要となる分母の水の量自体が違うんじゃないかという、前回話になったと思います。ここに補足説明されてるのが、それ以降の新規事業の開発協議において、原則井戸等で開発をお願いしている状況という、そのお願いというのは実際どういうことなのか、そしてそのお願いした結果どういう形で開発が進んでいるのかっていうのを知りたいのが一点。	1点目のですね、まず、令和2年度以降の地域の開発行為者に井戸を掘っていただいている経緯についてちょっと説明させていただきます。 まず、16か所の開発図部分の6400Iには見込んでおりませんので、新たに開発行為が来たときにですね、給水できるという協議はできないのは事実だったんですよ。見込んでないものを給水できますということは、こちらではできません。それで、開発行為するのであれば、自分の井戸で開発行為するしかありませんよということで、事業者のほうの合意の元で井戸を掘っているような状況となっております。 まだ何回か増えてる状況にあるんですけども、新たに井戸を掘ってる業者は3、4箇所の開発事業者が井戸でやってもらってる状況となっております。
あと結局、水が足りませんでしたという話になると、多分これはそう予想されるんですけども、令和7年8年度で、見直しが必要となる場合、多分これはもっと量が必要になるであろうという話になると思う。 そうなった場合今計画している、新中区配水池の施設の容量自体が足りない、結局足りないですよっていうことになる可能性があるのかどうかをこれが1点。	二つ目の話は今の開発計画っていうのは16か所以外にあるのかどうかっていうお話、今後増えていくのがどうするかということによろしいか。 16か所以外に開発計画が出ていって、その中區が足りるのかそもそもっていう話がありますけども、もちろん開発計画がどンドン出て、このまま盛り込んでないわけですから、当然、その分は入ってないということになります。 じゃ、どうするかっていうことですけども、何か手当てがあるのかっていうことですけども、7年8年で検討していきますっていうことですけど、まず一つはですね給水量が増えた場合に、井戸から掘るっていうことがまず一つ必要になります。まず、井戸をくみ上げて浄水場で井戸を供給すると。今は送水管つくてますのでそこはある程度耐えられますので、運べると。それから配るということになりますけれども、まず今の井戸で足りるのか、新しく振るのかという検討をさせていただきます。 それと、次配るときにどうするのかと。今の中區で足りるのか。あるいは、工夫するのかっていう検討が必要であるということになると思います。まずは、新しく入れるとき、どこまで開発計画を盛り込んで、どのぐらい必要なかとまず見込むと。今出てる開発計画を全部入れてしまうのか、あるいは計画しても御存じのように、その後進まないというのがありますので、どこまで入れるのか、必要量をまず見込む。 それから、まず水を確保する、上水新しく掘るのか、どっかから引っ張ってくるのかっていうことを7年度の戦略、今の戦略では16か所しか見込まれてませんので、どこまで入れて、幾らぐらいかかって、どのように確保できるのかっていうのを検討させてもらうというのが、ここに今回の町としての考えになります。

質疑応答(令和6年4月10日 1回目)

当日の質疑	当日の回答
あと3点目で足りないとなった場合に、もう1個つくるのか。あとはそのほかの案が今あるのかないかですね。あるんであれば数字とともに根拠のある説明を頂きたい。 あと、最後に、この資料の19ページ目に、配置上のメリットデメリットという説明の、当初の計画では、駐車場の奥の、テニスコートの奥のほうに施設が、建屋がですね建てられる予定だったものが道路に面したことが周りの関係者も含めて割と急にこれが発表されたということで前回もその辺について話があったと思うんですけども、このメリットデメリットの明らかにデメリット、今回、進めようとしてる内容でメリットのほうが少なく書かれてるのがちょっと気になったのが、これ、大体皆さんの創意では明らかにデメリットの要素が大きいと。項目の数というよりもデメリットの要素が大きいということで話がまとまったはずなんで、この資料からいくと、まず景観に配慮が必要というような印象ではなく、まず、正面にその道路にフェンシングしてる時点で、まずあり得ないという、景観上まずあり得ない。あり得ないというのはわがままを言ってるわけではなくて、これも前回の繰り返しになりますけども、こういう景観だとかそういうものを売りにして商売している人たちの塊が僕らがこの辺の住民ですので、そういった建物の形ではなくて、その場所の在り方ですね。それがもう既にまさに、災害とは言いませんけども、もっとほかの例えば奥にせいぜいやる手段がある中でわざわざ道路面に出すというのは少し考えられない。 あとですね何かそういう意味ではそのデメリットのかなりおっきくてですね、ほかの方の説明にもあったんですけども、災害時のですね給水において、車で乗り入れしやすいということがかなりメリットだということが、実際の関西の大震災を経験された方の御意見でありましたので、その点については奥に設計されてる当初の設計図の車の出入りが容易というメリットの中に災害時においての給水のしやすさということがメリットに入ってくると思いますので、そういう意味では、メリットを考えると、かなり奥に設計されるもののほうが、私たち、もしくはその来訪する方にとってかなり合理的なことであると。それにデメリットの中に書かれてる、コストがかかるですとかあと、除雪の容易さというのは、それは確かにデメリットだと思いますけれども、総合的に見て、手前に持ってくるよりも、やはりまだ奥にあったほうがいいというのが前回、この辺に住んで商売してる人たちのコンセンサスだと思いますので、それともう一度ですね、くみ取った上で再検討していただきたい。 いやそもそも水が足りないのであれば、この計画がどうなのかという、振出しに戻ってしまうもありますので、そこは、もう一度、御意見を伺いたいと思います。	今のつくるですね新中区配水池の2110が、足るか足りないかっていう話かとは思うんですけども、実際ですね、現状の中区配水池が500トンの容量からですね、2000トン以上送っているという事実がございます。実にもう、4倍ですね。今回、2100の配水池ができるということは、これ考えると、8000トンぐらい送れるのかっていうのもあるんですけども、これのポンプの容量がですね、それだけ送れることになるんですけども、これは指針上はですね、12時間容量が必要ですよということがありますので、今回2100の配水池をつくらせていただくと。これで結構送れるには送れる状況にはなるんですけども、今の中区の現状を考えれば、相当な量はカバーできるところには判断しております。ちょっと数字でちょっと申し上げるちょっと難しいですけども、これがすぐ足りなくなるということはないと考えております。 奥側に配置した場合のメリットデメリットの話だったんですけども、町のほうとしては、災害時には6メートル幅で100メートルある通路、これも被災されるであろうという想定のもとにですね、道路側のほうが、そういった場合には有利であろうという、考えで道路側のほうが有利であろうという結論としております。で、残った敷地がまだ何が建つか分かりませんので、それが崩れてきて道路を塞いでしまうようなことも想定してですね、道路側のほうに施設をつくったほうが、災害時には、給水活動に有利であろうという判断で前側に来たものでございます。
今回新しくつくる施設の6406という見通しよりも多くなれば、足りなくなるということでもいいのか。	見込んで6000なにがしを超えると、当然供給できない可能性が出てきます。そのときに、上水量を、まず芋蹄山から持ってきてますから、今の井戸で足りるのか。新しく掘るのか。どう配るのか。じゃ足りないんじゃないかと、検討して、何か手があるのかって言われたんですけど、それを検討したいっていう7年度で。どこまで、開発を見込んで、それを供給して幾らぐらいかかるのかっていうのを検討したい。
	ちょっと補足なんですけども、恐らくですね今水道課のほうでも何ぼだったら大丈夫だっていうのは多分言えないんだと思うんですよ。なぜならば、一つの施設だけで水道というのは生きてるわけじゃなくて、先ほどのこのフロー図で見てるとおり、全部全てですね流れがあってですね、どこかでつまずいたらば、要するに、何だろう、バランスよくこう血の循環のようにですね流れていくものですから、一つのところで、もうちょっと頑張れば、もうちょっと発揮できるよねっていうのも出てくる可能性はあるんですね。 ですから、そういったところも含めて、これからの水道の使用量、水量ですね、使用している実績だとか含めてですね、可能な限りの対応というのは、これから引き続き、今新しい施設ができたとしても。開発計画っていうのは今後はっきり言って、ここにいらっしゃる方々も誰1人としてどこまで延びるんだらうって、恐らく想像つかないと思うんですよ。これまでたった5年間の中でニセコひらふ地区だけでベッド数でいけば、私たちが手持ちで持っているデータによればですね、4500ぐらいは増える話なんですよね。これ誰が想像したんでしょうかっていうことです。 ですからそういった部分も含めて、これからぐんぐん伸びていく、そういったことがいい反面、結構こういったところでの負荷があるので、そういったけどもそれは誰も分からないっていうところもあるものですから、そういったところをしっかりと随時、今計画立てたらそれで満足っていうことにはまるっきりないんですよ。皆さんと本当に観光地マスタープランつくったらいいけれども、もう3年しかまだたっていないのにもかかわらず、もう見直さなきゃいけない。それだけスピードっていうか、この地域に状況に合わせてやっていかなきゃならない。この水道もですね、実は計画っていうのは、結構長いスパンでの計画なんだけれども、そうじゃないよねと。本当に、来年、8年、7年からやっていくっていうことですから、これは本当に頻繁にもっとやっていかなきゃならないということでの認識の中で、これから水道事業を展開していこうという考えでございますので、補足させていただきます。
水道施設については、多分みんなが必要だということが理解してると思うんですが、ちょっとそこが今回の問題ではなくて、駐車場ですね。一方、アジア1番のリゾートとかスキーリゾート、アジアのウィスラーとか、アジアのベールとかっていう話があるけれど、反対に、総合的な計画はなかなかできなくて、だからそれでいいのかということは、思います。 去年、確かに東急さんと役場の担当が、ベール、アスペンとウィスラーに行かれたと思うんですけど、そこでの駐車場、例えば20年前に比べると少なくなった場所って1個もないんですよ。みんな駐車場スペース増やしてるわけよ。で、ヒラフでは駐車場スペースを減らします。それ変えていいの か。ちょっと考えていただきたいんですよ。駐車場スペースが少なくなるっていう問題は一つなんですけど、それと同じタイミングでタイミングの問題があるんですよ。ちょっと考えると、この第2駐車場、3年間かかる。3年間、駐車場スペースも半分ぐらいなくなっなくなっなくなってしまっ、第1のほうで立体駐車場をつくるという話もなってるから、そこも恐らく3年ぐらいかかる。6年間駐車場スペース半分ぐらいになってしまう、なくなってしまっ、それはどれだけヒラフの評判に深い傷がつくのか。ちょっと考えていただきたいんですよ。ヒラフがアジア1番の不便なスキー場、そういう評判になるでしょう。 実はね僕去年の秋、議員と2人で、水道課とまちづくりの担当呼んで、この話についてちょっと、話ができました。今の第2駐車場について、いろいろ疑問を持って別にここしかないのっていう話を、ちょっと聞いてみました。今の第1駐車場の下のいわゆる水道施設をもっと大きくすれば、追加で開発すればいいんじゃない。1番、駐車場とバッチングしない場所であって、という提案を申し上げました。ただそこは土砂災害のエリアだから、余りよろしくないっていう回答だったんですよ。 しかし、背中にある第1駐車場で立体駐車場をつくるんだったら、山ほどのくいを打つはずですよ。すごい頑丈の建物をつくる。その理屈で考えると、その建物より丈夫な土砂災害の建築物はないと思うんですよ。だから総合的に考えたときに、そこできるとは思いました。 しかし、検討の中でもどうしてもそこは駄目だ。第2のほうでやるしかないってなったときに、また総合的に考えて、半分駐車場スペースなくするんじゃないかって、そこで将来立体駐車場をつくるのであれば、今の新しい水道施設の上に立体駐車場ができるような計画のほうがいいんじゃないかと思うんですけど。仮に今年無理やりに工事を進めたとしても、将来その可能性を守りながら、必要な基礎などのものをつくって、今の水道施設の上に駐車できるような計画を考えたら、よりいいんじゃないかなと思うんですけど。ただ感じるのは、第2駐車場の場所じゃなきゃ駄目っていう考えはもう20年前からあって、そこずっとぶれなくて、そのまま話が進んでしまっているような気がして、だから本当に総合的に考えて、リゾートとして、そして、倶知安住民にとっては、いいリゾートをつくるために、再度検討をお願いします。	今のそういった提案というか、御意見、去年そういった話を、職員としてるということなんですが、その辺はどういった内容だったのかというのは今お話聞いたことしか分からないんですけど。私の知ってる範囲の中では第2駐車場の上、今の水道施設の上についてはね、先ほどから申し上げるとおり水道というリスクっていうか、いかに危険な状態に持ち込まないかっていうのがまず一つ条件としてあったというふうに聞いております。要するにプール配水池が下に埋まってるので、そこに支障がないような形。なので、要するに、最初の案ではフェンスって言ったんですけど、この間の1回目の説明会の中で皆さんから声あったようにですね、フェンスでなくたっていいじゃないのテロ対策っていういろんな方法があるんじゃないの。だから、今回は何とか車止めをやって中は芝生、人が入れられるような形、活用できるような形にしたらいいんじゃないか。あとは防犯カメラだとかで、一応そういったもので抑止力というか、そういったもの、万が一いたずらされてもですね、カメラで収めて原因が分かったと言ったようなこともありうるんじゃないかということで今進めています。 ただその上にさらに立体駐車場を載せるっていう、ものを置くってのは物すごいリスクが生じてしまうので、そういったものは避けたいというふうに考えているというふうに認識しております。 あと、駐車場の問題に水道施設というよりはこのニセコひらふ、特にニセコひらふについては、駐車場の問題、交通の問題、これが本当に最大のテーマとなっているのは重々承知しております。 ですから、本当に第2駐車場に限らず今本当に第1駐車場もあそこを何とかしなきゃいけないと言ってて、もう本当に長い時間かかってて、なかなか、一歩前進一歩後退、そういったものを繰り返しながら今日まで来ています。ですけれども、町、このエリア全体としての車の交通の在り方含めて、駐車場の問題も含めてですね、第2駐車場に限らず全体の中でプランニングしていかなきゃいけない、大変重要な問題だということで、現在進めているということで。まさにそれはもう本当に別なところで喧々譁々やらなきゃいけないし、お金ももう既に投入しているいろいろ調査やってますんで、そういった部分、これからどンドンどンドン進めていかなければならない課題だと思っております。 このままいくと、世界に目指すどころの騒ぎじゃないよという御指摘も、まさにそのとおりだと思っておりますし、まだまだ、ニセコの世界に誇れるリゾートとしては、まだまだスタートしかしてないかという個人的には認識でいます。まだまだやらない課題ってのが山ほどあってですね。本当にまだまだ本当にまだまだというふうに思っておりますので、そういった部分、これからも皆さんのお知恵あるいは協力を頂きながら、本当に進めていきたいなというふうに思っております。

質疑応答(令和6年4月10日 1回目)

当日の質疑	当日の回答
何点かちょっとお聞きたいんですけども、その他の候補地に上がっている1、4、9、11についてなんですけど、これらは全て騒音・振動・民有地ということなんでしょうか。	はい。1番につきましては樺山小学校の敷地を検討した結果になっております。民有地ではないです。4番は今の低区配水池の裏側です。
すみません先に2問目行きます。災害時の道路側のほうがよいのではないかということでしたけれども、これは何かデータに基づくものなんでしょうか。	データに基づくというよりは、後ろに行ってしまうと、地盤変動が起きたこととかを検討したときに、手前のほうが、道路が接道してますんで、アクセスしやすいっていう形で検討したので、データに基づくとかっていうわけではないです。
ありがとうございます。日本各地で結構被災地が多いと思うので、何かしらそういうデータをもとにされたほうがより説得力があるんじゃないかなと思いますので、ぜひそちら検討していただきたいと思います。 あと、前回の質疑応答にあった、建屋の配置、斜面の上側にという件なんですけど、これ上側に寄せるっていうのは、角度を変えるということなのか、建物そのまま斜面側に寄せるということなのか、どちらになるんでしょうか。	当初案では、道路と並行に建物が建つという形で御提示したと思うんですが、それをですね90度曲げてですね、ゲレンデ側に近づけるという形で検討しております。
ありがとうございます。そしたら横幅と縦の幅って、今の計画でいくと、奥行きの方が長いと思うんですけど、そうなると通路狭くなるんじゃないかなと疑問を持ったんですが、そんなことにはならないんでしょうか。	御指摘のとおりだと思います。そのままの形でですね、90度を上げたら通路が狭くなると思います。ただ将来利用ですね、後ろの土地の将来利用を考えると、やはり駐車場として利用されると思うんで、その交通に支障があってはならないということで、狭くならないようにですね、そのまま90度したら狭くなる分を、そのまま狭くならずにですね、例えば水槽のですね深さを深くしたら面積小さくできるかとかですね、そういった様々なことを考えながらですね、交通に支障のないように検討していきたいと考えております。
ありがとうございます。先ほど、駐車場についておっしゃっていたと思うんですけど、スタッフ用の駐車場、まちの外れにとか、サンサポーツのところスタッフ用にというお話があったんですが、スタッフの車両とお客様の車両ってどのように管理運営されるんでしょう。	スタッフの車両とお客様の車両ということで、まずスタッフの循環バスを用意した場合には、当然事業者のほうに御協力を頂きながらですね、その利用者の把握をし、車両等にそういう何かしら分かるような手法があるというふうには考えております。サンスポのほうはですね、正直そこまではできないのかなと。そこは当然スタッフも停めてもいいんですけども、できれば、その従業員専用の駐車場、循環バスを利用した中で、従業員の方には、事業者を含めてですね、御協力していただきたいということで、今検討しておりまして、当然その辺のですね、方向性とかですね、まともりましたら、皆様方のほうにですね、やっぱりお願いに伺いますので、その節はですね、御協力のほどよろしくお願ひしたいと思っております。
ありがとうございます。ヒラフの町有地になる道路が何本かあると思うんですけど、そこで結構路上駐車が多くてですね、除雪会社さんが困っていたりとか、バス運転するドライバーさんが困っていたりするんで、町有地であるならば、町がちゃんと管理をして、取締りをしていただきたいんですけど、町の持ち物なので、私道ではないので、私たちは手出しができない。さらに、警察に相談しても、警察は町道じゃないので何も管理ができないって言われて、じゃあ私たちはどうしたらいいのかなっていうことが非常に多くあるんですよ。 なので、やっぱり駐車場の問題って1番、基本的なもので、さらに事業者ベース、依頼して守る業者と守らない業者が絶対いると思うんです。個人にもよりますけれど。それをもうちょっと町のほうで、町有地であるならば、もうちょっと権限を持って何かをしていただく、法律とかはあると思うんですけど、管理をしていただきたいなと常々思っております。	おっしゃられてる話、現実にございまして、町道に認定していないんですが、要は開発によって町のほうに頂いたその道路1本分、これは町のほうの管理なんですけども町道には認定しておりません。ですから、警察のほうでもそういう取締りができないという事実がございます。ただですねその辺もですね警察のほうでも相談しながら、当然、町のほうでもですね、とめている事業者が分かればですね、そちらのほうに出向いてですね、お願いはしているところですけども、やはりなかなか理解を得られない部分もございます。ただやっぱりこちら辺はですね、続けて何とかいい方向に向かうように、町としても努力していきたいと考えております。
ありがとうございます。ぜひよろしくお願いいたします。 私からの質問は以上ですので、候補地の1、4、9、11について教えていただければと思います。	1、4、9、11の説明させていただきます。まず、1番ですけども、これ樺山小学校のグラウンドで検討しておりまして、問題としては用地が狭かった。それから、校舎やNTT電波塔が近傍にあった場合、施工性に劣る、冬季間施工が不可能。工事中や供用中の騒音、振動に問題というのが、このときのリスクとして出ています。 次、4番ですけども、こちらは低区配水池があるところの東側の民地を検討しておりました。環境に与える影響としましては、民間の新規開発事業側に宿泊施設が多く、施工中や供用中の騒音、振動に問題があるということで、難しいということになってます。 次、9番でございますけれども、こちら中央公園東側の民地を検討しております。環境に与える影響としましては、民間の新規開発事業が多くあり、宿泊施設が多く、施工中や供用中の騒音、振動に問題があるということになっています。 最後11番ですけども、こちらテニスコート南側の民地を検討した結果となっております。検討結果としましては、今後もグラウンドとして使用するため売却予定なし。宿泊施設が多く、施工中や供用中の騒音、振動に問題ということで、難しかったことになっております。
今土地の選定について一つ、この私の持ってる土地も複数か所含まれてるんですけど、これ、災害リスク、環境リスクだけで駄目だよっていう、何か全然根拠が何もない感じなんで全て出してもらいたいんですけど。ヒラフ第2駐車場が最適案っていうその理由も何もなく、ただ、リスクがないからだけしか書いてないんですけど、こちら辺もっと詳しく書類、多分俱知安町でボーリングとか、お願いされてるんで、してるはずなんですよ、私たちの土地も。そこから辺をもうちょっと詳しく出してもらいたいと思うんですけどそれは可能でしょうか。 リスクが何々があって、多分、検査してると思うんで数字が出ると思うんですけどそういうのを教えていただきたいという。ただ見た感じでね、リスクがあるからっていうのもちょっとおかしい話なんで、ちゃんとその外れた理由、もっと正確に知りたいっていう、ただそれだけです。	ちょっとデーターとかはあるかどうか分かりませんが、選定資料はあるのでですね、それが出せるかどうかちょっと相談させてもらっていいですか。

質疑応答(令和6年4月10日 1回目)

当日の質疑	当日の回答
すいません我々もヒラフで、いろんな事業ですとかさせていただいてる中で、やはりこう、海外のお客様から、いろんな体制の中で1番現場気になるところが、あらゆるその変化に対応できるものという部分で、やはりこう一つの開発でも、一つのことしかできない、一つのビジネスしかできないってことはやはり避けられることがあって、いろいろな宿泊ですとか、事業ですとか、何か対応が求められるケースがありまして、先ほど町長も、今後、どうなっていくかまだまだ分からない、始まったばかりだということで、あと私個人的にも子供が3人いまして今小学生ですけど、将来、この町が、私の子供の代とかが大人になったときに、この水道施設っていうのは、築10年以上迎えたりですとか、20年ぐらいを迎えたいっていうふうになったときに、水道施設だけなのか、それともその将来に対する、変化に対応できる建物になっていけるものなのか。それを我々今大人がここで考えて、水道だけですってなって、確かに水道は重要だと思うんですよ。ただその世界のリゾートになっていく上で人が集まっていくところとかいうふうに考えていったら、やはりこう、町有地のところも何かその変化に対応できるようなものを考えられたほうが、今後の倶知安町、この世界のスキーリゾートっていう部分になっていく道筋になるんじゃないのかなというふうにちょっと思ったんですが、その変化に対応できるものに対してどのようにお考えだったのかお聞かせ頂ければと思います。	水道施設はですね五、六十年は使うという、50年以上ですね、使おうとしています。 まず安全性が第1ですね、濁ったりとか、生活に直結しますか安全性が第1ですから、上に何かをつくろうとか、いうことは今のところ考えてません。 将来的に物すごくお金があつてですね、安全性も確保できるっていう場合はっていう条件がつきますけど、そのときは使えると思いますけど、現時点においてのお金のレベルとですね、安全性確保を優先して、それと、安全に上にどのぐらいつくれるのかとかっていうことは、上に何かをつくるっていう計画は今のところありません。ただ、言われたように変化に対応できるように、50年先じゃ作ってないのかって言ったらそこはよく分からないですね。可能性はあると思いますけど現時点には考えてません。
	まだ計画はないんですけども、当然将来どうなるかわかんないよね、見込み以上の展開もありうる話ですから、こういったので先ほどからもお話あったように、水道管の供給可能してるところから大幅に増えてですね、施設が足りないだとか何とかってなる、そういったことっていうのは、ゼロではないわけですよ。 そういったときには、私が今まで説明聞いてる中では、例えば新中区の同じ敷地の中でプール、要するにプールをですね、増設というのは、当然ながら、技術的にはできるというふうにお話聞いてますので、そういった対応というのは、その敷地の中であればいいと思いますし、当然、その奥のほうを空いてるところというのが、これから、具体的な検討を進めなきゃいけないんですけども、駐車場としてより台数を増やすっていうんであれば、当然ながら立体ということも想定しなければいけない。 そのほかの今のこの水道施設の確保しようとしての敷地の中で、ある程度そういったことで技術的には可能だというふうに聞いてますんで、そういった部分での対応というのはありかな、将来的にはあるかなと思います。
	たださっき言ったように、一つの施設だけ充実させても血の循環と同じでバランスよくやらなきゃいけないので、立派な箱物ができたとしてもダメで、井戸が足りなかったらまた新しい井戸を掘らなければいけない。要するに、全体としてまとまるという形で、水道はある程度安定的に供給、おいしい水として供給できるか、安心して使えるかということが水道事業では大事とこの1週間勉強しました。
どうしてもこの場所で今年やらなきゃいけないことになるんであれば、さっき言った駐車場問題もあって、この約延べ床面積は800平米なんですよ。3年間スパン、ごめんなさいこれは民間でいうとあり得ないぐらいのスケジュールなんですよ。例えばインプレッションホテルって、5000平米、その中に33軒が入ってって結構こってる、キッチン、バスルームなどなどがあるって、それ2年間でやりました。 なのでこの800平米3年間かけて3年間駐車場、なかなかいろいろ苦しいことになるので、その辺、どうですか、やる業者さんと交渉して、2年間の中でやってくださいっていう話はできないんでしょうか。	まず、まだ工事発注してる状況ではございませんので、またこちらのほうは実際業者さんと詰める状況ではございません。今設計コンサルでの工程が3か年ということで、どうしても今年1年目はくい打ちにかかるんじゃないか、2年目から掘削、そして躯体部の建築ですね、3年目が外構ということで、それにおいてもですね結構工程上はきついっていうことになっておりまして。 今は設計事務所さんでの工程でしか考えてなくて、まだ業者さんと発注してるわけじゃないので実際の工程については、つかめてないような状況です。
お金かけるのは役場だからその辺運転してください。設計事務所に全部任せらんじゃなくて、お願いします。	できるだけ工程のほう、詰めれるかどうかというのは、今後発注した中で出ていくかと思います。よろしくお願いします。
すいません先ほどのこの場所、候補地についての質問のお答えの中で、環境リスク1、4、9、11という中で、供用時の騒音、振動の問題があり得るというお話ありましたが、うち1番直近なんで以前来られたときも質問したんですが、余り具体的な説明頂けなかったので、こういうリスクがあるってことは、何かこう具体的な検討があると思うんですけど。大丈夫だっというこないだお話だったんですが具体的なお話がなかったので、もうちょっと具体的に教えていただきたいです。リスクがあるっていう、認識があると思われるので、お願いします。	まず、工事中の騒音に関してちょっと今知ってる限りなんですけども、くいを打つときですね、どんどんと振動出すタイプのくい打ちではなくてですね、掘りながら進むってことなんで、そんな大きな振動は出ないということまでは分かっております。
工事中騒音が出るのは当然だと思いますが、先ほどお話あったように供用中という言葉があったんで、その施設が供用されたときの騒音について聞きたい	この前お話しさせていただいたのはポンプの総合については、コンクリートで囲んでいますので、ポンプが回っても、ほとんど音は感じられないっていうのはコンサルのほうからあったと思います。 あと自家発電機がつきますので、こちら月1回、どうしても点検でエンジンをかけますので、そのときに数分になるかと思うんですけども、エンジンの騒音は出るであろうというのが事実でございます。 あと今感じられてる供用中の騒音というのはそんなとこかなと思ってるんですけども。
それでは供用中の通常騒音は発生しないということでもいいですか。	全くってことはないと思うんですけども、動くのポンプですし、月1回の点検で掛けるエンジン、1番大きいのはエンジンのほうだと思うんですけども、それ以外はちょっと今のところ考えてはいない状況です。

質疑応答(令和6年4月10日 1回目)

当日の質疑	当日の回答
ここの自然が好きで人が好きで、今回こうい話を地元の人から聞いたので興味があってきました。 勉強不足なところもあって追いついてない部分があるんですけど、仮にもしこの工事をこのまま計画どおりに進めなきゃいけないんだとしたら、皆さんが言っているように、駐車場の確保がないまま継続して進めるっていうのは、あり得ないことだと思っていて、確保ができた上で進めるのが、通常の計画っていうものだったら流れで当たり前だと思うので、まずそこは、決まった上で進めなきゃいけないと思っています。 なんですけど、1番、今回疑問に思ったのは、そもそも、つくらなきゃいけないのか。水不足っていう現状問題があることは分かってるんですけど、こういう開発とか、観光と開発の問題って、そもそもないからつくる、ないからつくるの繰り返しだと終わりがないと思っていて、さっきも町長さんがおっしゃったと思うんですけど、供給できる水量がこれからどれだけ増えるか分からないって町長さんも言っている中で、今回新しいのをつくろうとしていて、仮にもしました増やさなきゃいけないときに、次の代替できる場所は、まだ今の時点でここ1個しかないみたいになってたら、もうつくれる場所がほかにないっていう問題にまた直面して、またその連鎖がどんどん続いていくと思うんですけど。そもそも、供給できる水量、あるいは、例えば制限したりだとか、国際的なリゾートに向かっていく中で、限りある資源を統制するだったり、うまくバランスよく保っていけるように、町側が管理するとか、そういった視点での進め方だったりっていうのは、そもそもこの計画ができる前にあったのかっていうところが、すごく疑問にあったので、考えだとか、お聞きできたらうれしいです。 でもそもそもこの計画自体は、個人的には住んでいる人間でもないですけど、進め方としては適切でないと思いますし、進めるんだとしたら、住んでいる人だとかリゾートを利用する側の人たちが、問題なく利用できるように、駐車場の場所を確保するだったり、対策をちゃんと決まってから進めて、進めるべきだなと思いました。以上です。	ありがとうございました。大変貴重な御意見というか、全くそのとおりだと思うし、まさに正論おっしゃられたのかなというふうに思っております。 今回の水道施設の計画についても、場所が結局は最適地というか、1番水道事業的に求めているところが第2駐車場だった。駐車場として今現在使われているところに設けなければならなくなったというところでは、まさにその代わりになる土地、駐車場とセットでなければならない。それは同時進行に当然、検討されるべきことだったというふうに思っております。 ですが、残念ながら現実、今、一刻も争うっていう、要するに建設するまでのですね、供用開始までに時間がかかるということもあり、水道の供給量というか需要がですね、どんどんどんどん差し迫っている状況の中では、少しでも早く、施設を整備しなければいけないということのですね、時間的なこのずれっていうか、そういったところで、はっきり言って皆さん釈然としないのも当然だと思いますし、今回のなった経緯についてもですね、全く同じこと、実は役場の中でそういった話をさせていただいたところでありまして、そういったところでの随分片手落ちのことを町はやろうとしてるんだなというふうにして、大変反省しているところでございます。 しかしながら、そういったところというのは一歩ずつやっていかなきゃいけませんし、リゾートというか、全く秘境の山の中でのリゾートというか、そういったぼつんと個人個人がですね楽しむような、観光地をつくるっていうんであればまた違うかもしれませんが、これまで長い歴史の中でニセコひらふがここまでやってきた。そしてこれからどうやっていくんだろうかというところをですね、みんなとずっともう何十年もかけてここまで来ているところですよ。 ですから、より多くの方々が、民間、事業として、開発をしながら事業、民間で自ら立ち上げて展開してきたという長い歴史もあります。そうしてる中で、今や国内だけではなくて世界中の方々から、この地域を訪れてパウダースノーとおいしい食べ物を美味しい水をここで楽しみながら風景を楽しみながら、時間を過ごしていただいている。そしてさらには、地元に住んでいる人たちが、この幸せ感を享受しながらですね、暮らしていくととてもすてきな町だと思っております。 ですからそういったところ、本当にいかにして共存していくかっていうのがすごく、この地域にとってはこれからも大切だろうし、全く自分だけの世界ではなくて、みんなと共有しながらですね、この地域で暮らす、過ごしていくということを目指していくべきだと思いますので、今お話あったようなことというのを大切にしながら、これからも歩んでいかなければいけないのかなというふうに考えております。 答えになってないかもしれませんが、そういうことです。
前回にも参加させていただいたので、ちょっと繰り返しにもなっちゃうかもしれないんですけど、やはり町長もおっしゃいましたけれど、世界のリゾートを目指してるとか、スキーのまちニセコっておっしゃってるじゃないですか。本当にこの場所が最適地なんでしょうか。 これも皆さん御意見とか質問とか出てましたけれども、今の第2駐車場が、エリアを断った理由っていうか、ほかの候補地がなしになった理由が、宿泊施設も多くあるみたいなおこともおっしゃられたように聞こえましたけれども、そこの隣、宿泊施設ですよ。住んでらっしゃる方もいる。同じですよ。ね。 大体ハザードマップで見てみんないじぐらい危険エリアになってます。 やはりちょっと、候補地、もう一度考えてほしいっていうのが願いです。 既存施設との接続を考慮して、合理的であるがためにブルーのラインから離れないような場所を選定されてるけれど、やはり世界を目指すんだったら、もう一歩目指してくださいよ。 何メーターか延ばすんでオーケーだったら、どうでしょうね。これやっぱりスキー場って倶知安町の宝物でしょ。やっぱり、景観とか、私たちにっては物すごく大事なことですよ。玄関口に、水道施設、やっぱりちょっとあり得ないんですよ。ぜひぜひもう一度考え頂きたいと思います。 あとちょっと前回のことで先ほどと繰り返しになるかもしれませんが、分からないこともあると思うですよ将来的な水道量なんて誰に聞いても分からない。それはおっしゃるとおり分からないかもしれないんですけど、前回の質問の補足回答の中に、令和13年度に1日最大給水量6406ってなってじゃないですか。ですけども、令和元年時の16か所を盛り込んでってありますよね。令和元年ですよ今年ですか。もう今令和6年、6年経ってるんですよ。本当に大丈夫ですかっていうのはちょっと確認したいです。そして令和8年度にこの施設ができる。でも令和8年度に見直す。本当ですか。これ本当にいいんですかこれっていうふうに思います。 もう1個、令和2年度以降の新規開発事業者には自己水源をお願いしている状況ですってありますけれど、これはお願いで済むんですか。法律的に。質問です。	今の自己水源のお願いの話ですけども、給水区域に入ってるところについては、給水の義務はこちらにはあるんですよ。正当な理由がないと断れない。給水の義務は発生してるのは事実なんですよ。 正当な理由がないと給水は断れない、今できてるのは、設備が整うまでの留保ということで、まだ今水が確保できてないので、給水をできるっていう状況にはないんですよ。それはなぜかという水源が6406しかないから。新しい開発を受けたらどんどんどんどん、全部の施設の水が足りなくなってしまう。 なので、その施設が拡充されるまでは給水ができないので留保している状況になってるというふうになっています。
やっぱり法的には給水しなきゃならないということでしょう。だとすれば、立ってすぐ見直しですよ、これ。もう本当にすごい勢いじゃないですか。いや、個人的には止めてほしいですよこんな開発。とっくのとうに止めてほしいです。なぜなら、全然町民にエリアにとっていいことないから。やっぱりちょっと、もうちょっと深掘りしてっていうか、計画自体をしっかり考えるべきだとは思いませんか。	さっきの元年度データでつくった16か所で、3年度に計画をつくりですね、そのデータをもとに、認可を令和3年度にもらっているという状況です。確かにちょっとデータが古いうっていうことでもう見直したいっていうこと。来年度から7年8年で、見直したいっていうことなんですけども、おっしゃるとおりだと思います。 ただですね給水量見込みがですね、あくまで予測ですけども、この5ページをちょっとオレンジのほうが実績で、令和5年度までが実績なんですけども、黒が能力なんですね。このままいくと、もう近々、給水量を超えちゃうと。何としても、新比羅夫ってのは6年にできますので能力は1回上がりますけども、それでもまだ足りないということで、どうしても新中区配水池をつくりたいと。 リゾート地というですね、水が滞るのをなんとしても避けたいので、工事を進めていると。ちょっとつくりながら、また考えながらっていう状態になってるんで、今1回計画して、それでずっと永遠に行けたらいいんですけども、状況がどんどん変わってきているので、つくりながら、もう計画を見直しながらっていう形になっているということです。 とにかく水を止めるのを、滞ることを避けたいっていうのが、一つの方針でもあります。そのために、今工事して、来年以降見直してっていう形にしたいと思ってます。
	恐らく納得してないと思うんですが、水道事業をやるにしても、倶知安町の税金というか、能力だけで建てられるものではなくって、国からも支援していただく。そのためには、ちゃんと計画を立てた上で、事業を進めなければならぬ。そして、お金も借りなければいけない。何十年返済でしっつけ。40年という長大なですね借金を抱えてですね、こつこつと返さなきゃいけないっていうものなんで、ちょっと周りから見るとなかなか理解できない、超スローペースの中で物事が動いているんだという感じはするかもしれませんが、そういったサイクルの中で、やっとここまで来ている、途中経過の説明がされてないのでなおさらのこと、おやおやというふうに思われてるのは、これもう致し方がないというか正直、本当に申し訳ないなと思ってるんですが、そういった事業の展開の仕方であるということは、参考まで、理解していただけたらありがたい。

質疑応答(令和6年4月10日 1回目)

当日の質疑	当日の回答
町長今言ったのは、国からの借りるお金に対しては計画を出さないといけないということだと思うけど、ちょっとこの駐車場を使ってこの建物をつくるということが、その計画でもう国に出してるってこと。よって変化できないっていうことになってるかな。 いきなり場所がこっちのほうが有利と思ってたら、もうできない。もう変化がきかないということまでいってるの。	まるっきり今の場所から全然違うところを選ぶとするならば、まるっきり今までかかっていった設計費だとか、様々な部分も既に使ってるので、もう既にそれは事業認可されて、頂いてるんで、お返ししなければいけないということです。 事業工事はまだ使ってないからいいんですけども、国からその設計、ソフト面でのかかった分に対するものというのは返還しなきゃいけない。
今は足りないであろうという計画になった場合ですね、令和7年度に見直した場合、また新しく、井戸を掘ったり、別の方法で水を見つけてくるということだったんですけど、僕ちょっと専門家じゃないんですけど、お聞きしたいんですけども、水って、これ干上がったりなくなったりすることってないんですか。もし有限なのだとすれば、いつかは終わりが来るとすれば、それは、いつになるのか。今、皆さんここにいらっしゃる方ってここに住んで商売してる方がほとんどですので、そもそも釈然としない大きなその原因っていうのは、もちろん今日も水飲んできたし、問題なく今水出てます。水はとても大切なもんです。水が出なくなると、当たり前ですけど、とても困ります。水が出なくなる理由というのは、新しく建てる建物があるから水が新しく出なくなる、その問題と直面するわけで、僕らとしてはヒラフが古い建物が新しくなる過程でいろんな投資が入り、見た目もきれいなものになっていくということまでは、すごい皆さん同じ方向に向いて、イケイケゴーゴーだったんですけども、ある程度のキャパシティを超えてから、今度、古い建物が建てかわるところから森だったところを新しく建物を建てるところに替えていったりってなった場合に、もう印象としてキャパシティーはかなりいっぱいいっぱいになって、水に限らずですね、いっぱいいっぱいになってきてるんじゃないかという、それこそデータに基づいてないんですけども、印象ある。住んでてスキー滑ってて。今直面してる問題、これから直面するであろう問題がもうほぼその新しく建てるため、建物のため。もちろん誰かが得して誰か損するってどちらかを取らなきゃいけないのは仕方がないんですけども、大事な駐車場やその他景観も含めてですね、何かを失う側の、失う側に僕らがいるので何か釈然としない。失うものを多く享受して来た側にいるので何か釈然としないうってのはこれはもう変えられないと思うんですけども、そもそも最初の質問に戻って、水において、キャパシティーのリミットっていうのがあるのか。井戸って干上がっちゃうってあるのかなくてちょっと素人ながら、知りたかったんですよ。	今まで1度何本か掘ってきた経験上ちょっとお話しさせていただきます。当時は1号井戸2号井戸で、これが平成元年にですね、掘ってて、それがつい最近まで、稼働してたんですよ。それから3号井戸を掘らなきゃならないということで、急遽半月湖の駐車場のところに掘りました。これは大体この辺で、掘れば出るだろうと感覚で掘ったら出たってということで、これは960出たんですよ。 だからあのあたり、半月湖のあたりは結構水が豊富なんだろうって頭があって、次4号井戸と5号井戸っていうのを令和4年にやったんですけども、こちらがですね、マンガンが出まして、水量も少ないと。5号井戸も同時に掘ったんですが、こちらマンガンが基準を超過してるってことで、どちらもこれ、このままでは認可が取れませんよということになって、相当悩みました。 5号井戸のほうはですね、その次の年も諦めないで揚水を繰り返すところによると、マンガン濃度が下がってきて、今何とか認可はとれたんですよ。それが1600のまだ使ってませんけどあるわけです。 そういうことで、水量も少ないし、マンガンが基準の10倍以上出るということで、これ恐らく飲料にするとなれば、除マンガン施設やらで、莫大な費用がかかるということで、これやるんならもう一本、どっか探したほうがいいだろうということになり、次の年に、もう失敗はできないということで、かなり調査をしまして、やっと6号井戸にたどり着きました。6号井戸は3400の能力を持ってまして、今まで1000トンをしか出たことがないのにすごい良いのが出たんですよ。ただそこに至るまで結構試掘もやってましてですね、出てないところが結構あって、1番出るとこ掘ったのが6号井戸なんですよ。 もうかなりあの付近ですねもう、100メートル、200メートル範囲の中に井戸がもう6本入ってるような状況下になっていって、一説にはですね、コップにストロー6分さして飲んでると。だから、その水は同じ水という説もあってですね、これ以上あの付近で、井戸が出たとしてもどれかが枯れるとかですね、同じコップの水を6本のストローで飲んでいるような状況だってことを専門家の方は言っておられましたのを覚えてます。 なので、同じ付近で、これ以上開発するとなるとかなり難しい状態にはなるんじゃないかなと私は思っています。
ありがとうございます。ということは、もしかしたら、そういう意味でもリミットという終着点があるかもしれないっていう、もちろん100%ってのあれですが。ていうことはいつかリミット来るという可能性があるんであれば、もちろんこの今回の水道の施設をつくるつくらないという話の源でありますし、そもそもの話、展開を広げていく一つのきっかけがこの水なのかなっていう、率直な印象ですね。見て見ぬふりしたいところではあるんですけど、もしかしたら水も干上がってしまうかもしれないということが今回勉強させて頂いた。それはないんですよ。干上がることは絶対ない。確保できる。いや僕、専門家じゃそこがちょっと心配なんですよ。	今のところの水位なんかにはずね、毎日日報とかで管理してますので、やっぱり雪解けシーズンは水位が上がってきて、2月頃は湯水、下がるのは分かってるんですけども、ここ何年かの傾向としては大きな変化がないのは把握しております。今のところ大丈夫だと思います、水位については。
もうこの場所しかないような話になっていると思うけど、奥にずらすっていうことは、災害のことがあるのと、そのお金が。でも、エリアとしては1番望ましいという観点で言っているかもしれないけれど、どうでしょうか。表に立体駐車場、奥にずらす可能性はあるんですか。	基本設計のときに奥に絵をかいてたっていうところもあって、つくことは可能なんですよ。ですけれども、これまで説明してきたとおり、必要のないコストがかかりますよっていうのがまず一つ。なぜならば100メートル配管、結構ごつい配管が100メートル延ばさなきゃいけない。それだけで億単位かかる。 それとあと、雪の除雪、あそこを土地限られる、もう減っちゃうんだけれども、駐車場として使える面積っていうのは減ってしまうんだけれども、あそここの奥のほうに雪を押すことがある程度、今までの経験上は有効に使えるので、1台でも多く停めようとするならば、当然、奥を空けていったほうが、より有効に使えるだろうということと、あと、今後、あそこの敷地、限られた敷地なので、先ほどもちょっと話したけれども、可能性としては立体駐車場によってある程度の台数を増やすっていう意味でも、奥のほうが、そしてこのレベルに合わせれば1番、物すごく使い勝手がいいのになっていう、まだ公表できる話ではないんですが、一応そういった絵もかけるんじゃないだろうかっていう可能性、今後の土地利用の幅広さということ考えると、奥を空けといたほうが、よりいいだろうという考えは持ってます。
先ほど説明していただいた90度ずらしたパターン、イメージができたり図面ができたりですとか、また説明会とかで説明していただけるのか。今検討しているという話でしたが、90度壁側に(聞き取れない)	これですね本当に1回目の説明会のときから御意見御指摘だとか、こういうふうならんかっていう話があってですね、より具体的に今精査しているところですよ。可能性はあるんですが、当然ながら、ちょっと手戻りの部分もあるもんですから、プールを設計し直さなきゃならない。構造計算から何から全部やり直し、そういったところなので、設計に改めて時間を要するということが生じてしまう。ただ、技術的には可能なことですね、今精査しているところです。 それで皆さんちょっと御提案なんですけど、これ落ち着くまではですねかなり道のりあるかもしれないんですが、前もお話しさせていただいたとおりですね、倶知安観光協会をはじめ、各団体からですね、合同で要望書を上げていただいております。それによって、さらに精査できないかということでの御要望でしたので、そのすり合わせとかですね、その調整というのを私どもとその各団体のですね、代表の方々とですね、何とかちょっと時間をつくっていただいて、ちょっと最終的な、先に進めれるような形を見いだすことが、できないかなあというふうに考えてるんですけども、そういった形でも構わないですか。もし許されるんであれば、そういった形ですね、本当にこっちの勝手な話でね、ここまで遅らせて説明会を開かせていただいて大変恐縮なんですけれども、いずれにしてもですね、どういった形にするかにしても、やっぱり少しでも早く意思決定をし、着工につなげていくような形にしていってというのが、皆さんにとっても、必要な、とても必要なことだと思ってるんで、そういった形で、またそこで話し合いでまた難しいっていうか、であればまたということになるんですが、いずれにしても、水をしっかりと供給、安定的な供給を確保しなければいけないというのは、これ消えるわけではないんで、本当にその辺、皆さんの御協力御理解を引き続きお願いしたいと思いますが、そういった形でよろしいですか。

質疑応答(令和6年4月10日 1回目)

当日の質疑	当日の回答
私も、観光協会の理事として、やっておりますけど、話してもいいんですが、全く計画変えるつもりがなければ、その意味は何でしょうっていう気持ちも、正直なところあります。	計画を変える意思っていうのは、どういう計画を変える意思ですか。
今の水道施設、場所も含めて、こんなにみんな集まって心配の声たくさんあって、今まで相談されてないっていう不安もあって、それも含めて、場所も含めて考え直していただくのであれば、団体も含めて話し合ってもいいと思うんですけど、ただ何回か会って、このまま、この計画どおりでいきますっていうことであれば、会う意味はあるのでしょうかということなんですよ。 先ほど、話しにもあったんですけど、業者さんがまだ決まんなければ、非常に人手不足の中で、そもそも業者さん見つけれののかっていう質問もあって、変な話それで業者さんと予算合わないとか、忙しいからできないってなったときに、1年遅れがありそうであれば、その場所も含めて再検討してもいいんじゃないかなと思うんですけど。僕からさっきちょっと言ったんですけど3年計画、それを仮にちょっと詰めて、2年計画に変えた場合、少なくともその管理費用が大分少なく少なくなるんですよ。業者さんの経費。だから今まで、この位置でかけた設計料も含めて、縮めたもっと短い工期の中でもしやった場合、場所を変えても、損はしない。損を少なくするっていう考え方もあると思うんですよ。その辺も含めて再度検討していただければと思うんですけど、以上です。	もちろんですね、御指摘あったような、本当に工期の短縮だとかも含めて、コスト面でいかにして、もうはっきり言ってですね、もう既に設計だとかってね、説明したとおり、実施設計まで終わっちゃったんで、ここの部分は金返せっていう話にならないので、もうお金も払ってるものなので、これはもう取り返しがつかない。 だけど、全くゼロに、あそこ敷地の中でやるのであれば、同じ場所で向き変えるだとかっていうのであれば、まだ使える部分っていうか、実際に設計した中でも、そのまま使える部分も当然出てくるというお話もあったりですね。その辺いずれにしても、いかに経費をかけない中で、みんながみんな100%満足できるような場所にならないかもしれないんですが、最善を尽くしたいというふうに思ってますので、そういったところでの話し合いを、要望していただいた団体とさせていただきませんか。
ちょっと分からなかったけど、ブルーの線に全部新しい管が入ってくる。道路に書いてるブルーの線があったけど、それが新しい管。その工事が行うということでしょうか。	既設の管がブルーの線で、ここを工事するところとなればですね、この絵でいくと、今のここに新しくもう1本入れてくることにはなってます。
ちょっと確認したいんですけども、町長は場所の変更はもうする気はないと、もうこれは進んでいるので、3団体と話し合いを設けたとしても。お願いということですかこれは。 私たちは、場所の選定をもう一度考え直せないかっていう要望書を出したと思うんですけども、もう一度何か見直しをかけれないかっていう願いをしたと思うんですけども、今町長のお話だと、もう場所はある種、ゴーサインを出してるので、場所自体はもう変えることは不可能、第2駐車場で行きます。その中で、できる限りのことをするので、3団体と調整したいという意味ですか。	一応、あそこ敷地の中でということで、今のところは考えてます。ですが、その理由というかそういったものの、もうちょっと具体的なものを含めてですね、実はこういうこと、もしまるっきり違うところでやるのであれば、そういったところのリスクっていうか経費的なものも含めてね、工期的なものも含めて話し合いをさせていただきたいというふうに考えているということです。ですから、場所は第2駐車場のところってというのは、今時点では、我々は考えているということです。まるっきり違うところではなくて、という話が中心になると思います。 ただ、また、皆さんと、要望団体とお話をするときにはまたいろんな話が出てくると思いますけれども、皆さんからも出てくると思いますし、こちらからもいろいろそれに対するやりとりというのは出てくるのかなというふうに思ってます。
何だか腑に落ちないのは、やっぱりもう決まってるっていうふうにしかなちょっと聞こえないっていうのが、すごくみんな腑に落ちないんだと思うんですよ。もう説明会っていうだけに第二駐車場やるぞっていうのがもうこのまま進むんだっていうのをひしひし皆さん感じてと思うね。 何かもう、全然フラットじゃないじゃないですか、もう初めからもう町で決められて、ここだからね水足りないでしょ、困るでしょ、水とめるよ、困るでしょ。だからこのスケジュールでいくよって、もう言われてるような気がしてならないんですが。	そういうふうには言っていないつもりではあるんですが、何かもうあたかも決まったようなというか、ですからもう本当に何度も説明申し上げますし、理解してもらおうとは思ってますけれども、こういったところまで積み重ねてこまで来てるっていうのは確かに事実です。先ほどからもう既に国からも支援頂いて、設計まで終わらせてやってきてるんですから。ですけれども、これもはっきり言って国だけではなくて町民の皆さんの税金を使ってやってるもんですからね。そういった部分というのはしっかりと、できるだけ、手戻りするにしても最小限に抑えた中での範囲の中でやるべきだというふうに思ってますし、ただそれでも、やっぱりそれ以上にもっと納得できないっていうか、決定的にね、できないのであれば、本当にもう1からやり直して水の制限だとかっていうのもかけながらね、でもやんなきゃならないのかも分かりません。 ですけれどもそういった部分の詰めた話っていうのは、なかなかこれ、説明会あと何度をやってもいいんですけども、時間的なものがあるのでどうですかっていう話を、今日させていただいているということでもあります。 決してですね何だろう、役場って全部決めてから説明会するっていうのは、もうほとんどしてない状態なんですけど、今回はもうこういうところまで来ちゃってて、説明会が後手後手になってしまったっていうことが本当に申し訳ないとは思ってるんですけども、もう二度とこういうことにはならないようなことにはしたいとは思ってます。 だからといって結局、町長そんなこと言ってるけれども場所動かしてくれればそれでいいんだわって、言わないでください。本当にお金のかかる話ですし、そこまでには私の政治生命も全てかけてやらなきゃならないことが、額によってはですね、出てくると思いますので。そういったところも含めて、覚悟を持って私たち、これから限られた中で最善を尽くした中で、絵柄も含めてですね、皆さんの将来的な、駐車場としての有効活用、残された中での可能性も含めてですね、総合的に判断した中で、今回第2駐車場の一部分を使わせていただきたいという提案でございますので、そういった部分、本当に可能な限りの工夫だとか、様々な部分はまだまだやっていきたいとは思っておりますし、ということでございます。